

科目名	化粧品企画実習							年度	2024
英語科目名	Cosmetics planning practice							学期	通年
学科・学年	応用生物学科 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	森内 寛・非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		化粧品企画開発		
【科目の目的】									
市販されている化粧品の開発について学び、化粧品開発に関する技術の習得と理解を目指す。									
【科目の概要】									
新商品の企画や既存商品の改良の方法、他社製品の情報調査の仕方について習得します。									
【到達目標】									
A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。 B. 本実習にて学んだ実験手技を手順通りに正確に行うことができる。 C. 他の実験協力者（実験班員）と積極的にコミュニケーションを取って、実験に参加することができる。 D. 提出が義務付けられたレポート・課題を提出期限までに遅延なく提出できる。									
【授業の注意点】									
遅刻・欠席は実験技術を理解できなくなる主原因である。日々の体調管理をしっかり行い、必ず出席すること。実験書を当日読み始めることは、安全確保の観点から大変危険である。前日に実験書に記載されている実験操作を読み、理解しておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は成績評価を受けられない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	本科目の実習に無遅刻・無欠席である。		本科目の実習に1回だけ遅刻した。			本科目の実習に2回以上遅刻または1日以上欠席した。			
到達目標 B	授業で学んだ手法・手技を実践的に行うことができるだけでなく、積極的に提案を行った。		授業で学んだ手法・手技を実践的に行うことができた。			授業で学んだ手法・手技を手順通りに行うことができない。			
到達目標 C	他の実習協力者とコミュニケーションを取って活動してただけでなく、理解度不足の他の協力者に教える姿勢が見られた。		他の実習協力者とコミュニケーションを取って、実習に参加していた。			自己目的的な行動を行い、コミュニケーションを取って実習を行う姿勢が見られなかった。			
到達目標 D	卒業展での展示において中心的な役割を担った。		卒業展での展示において積極的に参加した。			卒業展での展示において間接的に参加した。			
【教科書】									
特になし									
【参考資料】									
必要に応じてプリント教材を配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】									
出席（40％）、レポート内容（30％）、実験手技（30％）の総合評価とする。ただし、レポート未提出が1件でもある場合は不合格とする。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

